

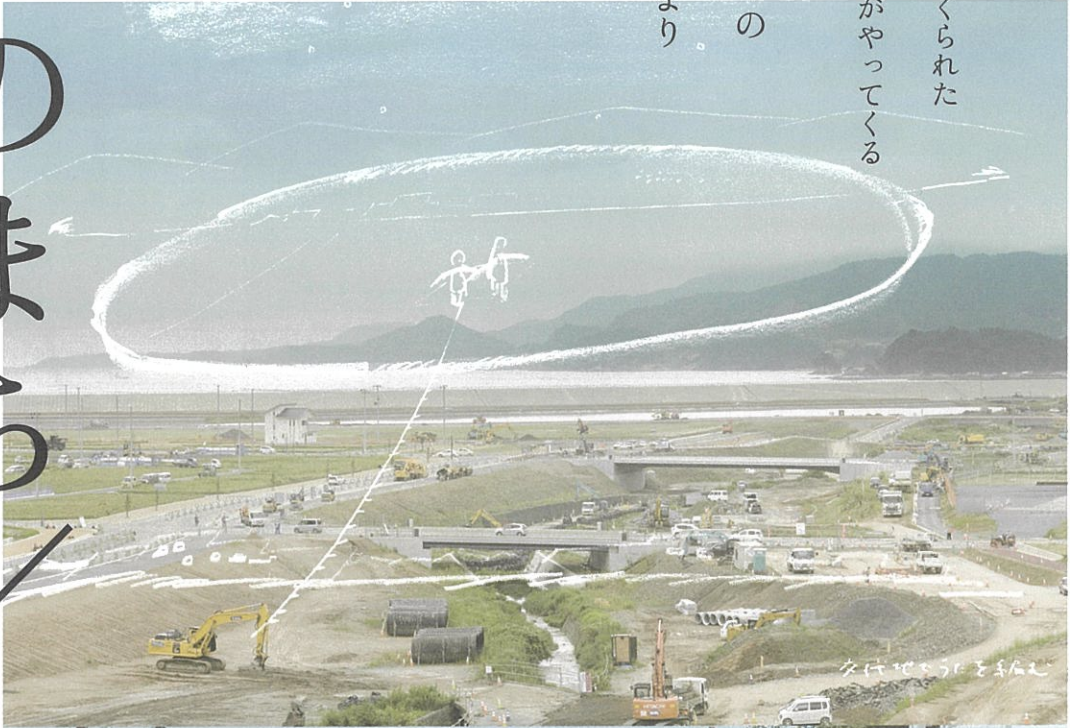
かつてのまちの上に

あたらしいまちがつけられた

そこへ、四人の旅人がやってくる

ちいさな〈継承〉の

はじまり、はじまり



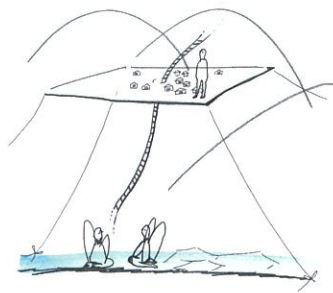
二重のまち 交代地のうたを編む

www.kotaichi.com

小森はるか+瀬尾夏美

出演：古田春花 米川幸リオン 坂井遥香 三浦碧至 監督：小森はるか+瀬尾夏美 撮影・編集：小森はるか 福原悠介 録音・整音：福原悠介 作中テキスト：瀬尾夏美
ワークショップ企画・制作：瀬尾夏美 小森はるか スチール：森田具海 2019年|79分|日本|DCP|英題：Double layered town/Making a song to replace our positions|配給：東風 © KOMORI Haruka + SEO Natsumi

Double layered town/
Making a song to replace our positions



民話の萌芽のような時間を描いた奇跡の映画

二〇一八年、四人の旅人が陸前高田を訪れる。まだ若いかれらは、「あの日」の出来事から、空間的にも時間的にも、遠く離れた場所からやって来た。大津波にさらわれたかつてのまちのことも、嵩上げ工事の後につくられたあたらしいまちのことも知らない。旅人たちは、土地の風景のなかに身を置き、人びとの声に耳を傾け、対話を重ね、物語『二重のまち』を朗読する。他者の語りを聞き、伝え、語り直すという行為の丁寧な反復の先に、奇跡のような瞬間が立ち現れる。

交代地————出来事の体験者から非体験者へ
記憶を手渡し、ちいさな継承をはじめのための場

本作は、東日本大震災後のボランティアをきっかけに活動をはじめ、人々の記憶や記録を遠く未来へ受け渡す表現を続けてきたアーティスト「小森はるか+瀬尾夏美」によるプロジェクトから生まれた。『二重のまち』とは、かつてのまちの営みを思いながらあたらしいまちで暮らす二〇三年の人々の姿を、画家で作家の瀬尾夏美が想像して描いた物語。陸前高田を拠点とするワークショップに集まった初対面の四人の若者たちが、自らの言葉と身体で、その土地の過去、現在、未来を架橋していくまでを、映像作家の小森はるかが克明かつ繊細に写しとる。



『二重のまち/交代地のうた』

書籍

絵・文 瀬尾夏美

書肆侃侃房より2021年2月下旬発売

2月27日(土)よりロードショー

全国共通特別鑑賞券[前売券] ¥1,300 (税込)

●当日券料金は、各館にお問い合わせください。

@kotaichi_film

fb.com/kotaichi.film www.kotaichi.com

ポレポレ東中野
03 3371 0088 pole2.co.jp
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
都営大江戸線A1出口より徒歩1分

全席指定/オンライン予約有り *全国共通特別鑑賞券はオンライン予約不可
2/27(土)~3/5(金) 12:30|14:30
3/6(土)~3/19(金) 12:30 ※以降未定
★2/27(土) 12:30回、監督舞台挨拶あり

JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
03-3280-0099 www.topmuseum.jp

至 渋谷	東口	動く通路	恵比寿ガーデンプレイス
	JR恵比寿駅		TOP MUSEUM
日比谷線恵比寿駅1番出口			
2/27(土)~3/18(木) 13:00 15:30		※月曜休映	
★2/27(土) 15:30回、監督舞台挨拶あり			

特集上映「映像作家・小森はるか作品集 2011—2020」3月6日(土)—19(金)ポレポレ東中野にて開催

*『二重のまち/交代地のうたを編む』の半券提示で、当日一般料金より200円割引